

種智院大學 同窓會報

第30号

平成16年12月15日

種智院大学同窓会

〒612-8156

京都市伏見区向島西定請70 種智院大学内

TEL (075) 604-5600 FAX (075) 604-5610



種智院大学同窓会総会

平成16年度種智院大学同窓会総会は、平成16年7月3日（土）午後1時から母校講義室401で開催された。

総会に先立ち、昨年度物故された諸先輩方の追悼のため、森会長を経頭に物故者慰霊法要が営まれた。特に今年は、1月14日に遷化された前同窓会長の元中山寺長老、池田荳輝大和尚を偲んでの法要となった。

総会の冒頭、森会長挨拶があり、本来同窓会としてのあるべき姿、同窓会の意義を切実に述べられた。その中で、少しでも多くの会員の方々に総会という場に参加していただき、より同窓会が発展していくために、今こそ皆様のアイデアが必要であることを提言された。

続いて、頼富学長から同窓会へ奨学金制度の導入に関するお礼の言葉を頂戴し、母校の入学者の現状を踏まえた上で大学と同窓会のさらなる協力体制の確立の重要性を述べられた。

次に総会の議長は、法本弘文師（昭和23）が選出され、議事に入った。

平成15年度事業報告（案）、決算報告（案）、平成16年度事業計画（案）並びに平成16年度予算書（案）についてそれぞれ協議を行い、承認を受けた。

その後、昨年度から施行された同窓会奨学

金について、寄付状況並びに選考結果が報告された。そして昨年度の2名と、今年度4名の計6名の奨学生に対し、森会長より奨学金給付証が授与され、それぞれがお礼の言葉をのべた。

また、昭和17年度卒業の水谷修夫大僧正が大本山隨心院門跡に就任されたため、顧問に推戴され、満場一致で承認された。

以上、議事は滞りなく進められたが、最後に同窓会の活性化へ向けての取り組みが今後の課題であることを確認し、総会は終了した。

午後3時から、記念講演が行われ、「古文書から歴史をのぞく」の演題のもと種智院大学助教授左右田昌幸先生のお話を伺った。講演時間は1時間の予定だったが、その魅力は聴講者を釘付けにしてしまうほど熱の入った内容で、質問も多数飛び出し時間を超過するほどだった。

午後5時30分から会場をホテル京阪京都に移して懇親会が開催された。森会長のご挨拶のあと、先ほど顧問に推戴された隨心院門跡水谷猷下に花束が贈呈され、お礼のお言葉と乾杯のご発声をいただいた。参加者それぞれの近況報告を交えての歓談に花が咲き、旧交を暖め、和やかな内に来年の再会を約束して散会した。

ごあいさつ

種智院大学同窓会会長 森 見章



師走の声を聞き、早いもので本年も旬日余を残すのみとなってまいりました。会員の皆様にはご健勝にてお過しのことと拝察し、大慶に存じ上げます。また、先般の災害などで罹災されました方々には、心からお見舞い申し上げます。

昨年、同窓会奨学生のための勧募をお願い致しましたところ、本当にたくさんのご協力を賜り、誠に有難うございました。このご厚情をもとに、昨年度、また今年度とも奨学金を給付することができました。奨学生たちも本当に感謝しております。今後とも引き続き何とぞよろしくお願い致します。

ところで、おかげをもちまして種智院大学同窓会の会員は、現在では相当数になりました。しかしながら、毎年、総会の場へお越しいただいている方はそのうちのごくわずかでありました。

昨今、地方の時代といいながら中央集権化されている日本の行政のあり方、また数々の社会問題

などを見ていると、非常に矛盾が多く感じられます。けれども私たちは日本の国で生きています。日本国民一人ひとりが本当に国のことを考え、その中で地域社会に生きていること、もっと小さく言えば家族であり、その一人ひとりが本当に常安楽に生きていける世の中をつくるために努力していかねばなりません。

そんな時に、堅苦しい肩書等はずして、気楽に、みんなが同窓生という絆を結んだときの状態に戻り、そのなかでそれぞれがおかれた立場を他の方々にも聞いていただく。そして衣を脱ぎ捨てて話し合いをしていくことによって、今度は衣を着たときに違った自分を見つけ出すことができ、新しい生き方、大勢の人たちとの関わり方、といったものが少しずつ行き渡っていくのではないのでしょうか。

つきましては、そういうことを意識しながら私たちがもう少し、休んでいると席がないというぐらいの同窓会総会にしていきたいという夢の実現に向けて精進していこうではありませんか。

九拜

会員各位 益々のご多幸とご発展をお祈り致します
南無大師遍照金剛

【平成15年度決算書】

収入の部		(単位:円)		
勘定科目	15年度予算	15年度決算	比較増減	備考
会費	4,800,000	3,020,000	△1,780,000	平成15年度終身会費151名
懇親会費	300,000	340,000	40,000	@10,000×32 @5,000×4
寄付金	400,000	1,675,000	1,275,000	
受取利息配当金	500	9,068	8,568	郵便貯金・普通預金
雑収入金	500,000	633,000	133,000	
未収入金	0	3,620,000	3,620,000	平成14年度終身会費181名
前年度より繰越	16,926,135	16,926,135	0	
合計	22,926,635	26,223,203	3,296,568	

支出の部		(単位:円)		
勘定科目	15年度予算	15年度決算	比較増減	備考
人件費	100,000	30,000	△70,000	アルバイト代等
総会諸費	300,000	276,100	△23,900	講師お礼、テーブル起稿等
懇親会費	300,000	334,500	34,500	京都センチュリーホテル支払
奨学金費	400,000	400,000	0	@200,000×2名分奨学生
消耗品費	50,000	44,976	△5,024	事務用品等
印刷製本費	700,000	851,098	151,098	会報1回分等
通信費	250,000	255,955	5,955	総会案内、各種会議等案内
会議費	250,000	213,338	△36,662	各種会議、食事等
慶弔費	250,000	285,336	35,336	各種電報、卒業生お祝い等
旅費交通費	200,000	413,215	213,215	支部総会、各種会議交通費等
広報費	500,000	0	△500,000	ホームページ制作費用
雑費	20,000	15,220	△4,780	振替料金、銀行送金手数料等
次年度へ繰越	19,606,635	23,103,465	3,496,830	
合計	22,926,635	26,223,203	3,296,568	

平成16年3月31日 平成15年度同窓会の会計が正確に執行されていることを認める。 監査人 嶋 裕海・佐野 剛空

【平成16年度予算書】

収入の部		(単位:円)		
勘定科目	本年度予算	前年度予算	比較増減	備考
会費	4,500,000	4,800,000	△300,000	平成16年度終身会費@30,000×150名
懇親会費	300,000	300,000	0	@10,000×29名 @5,000×2名
寄付金	800,000	400,000	400,000	
受取利息配当金	1,000	500	500	定期預金等
雑収入金	100,000	500,000	△400,000	
前年度より繰越	23,103,465	16,926,135	6,177,330	
合計	28,804,465	22,926,635	5,877,830	

支出の部		(単位:円)		
勘定科目	本年度予算	前年度予算	比較増減	備考
人件費	100,000	100,000	0	アルバイト代
総会諸費	300,000	300,000	0	総会諸費用、講師お礼等
懇親会費	300,000	300,000	0	@10,000×29名 @5,000×2名
奨学金費	800,000	400,000	400,000	@200,000×4名分奨学生
消耗品費	50,000	50,000	0	事務用品、コピー代金等
印刷製本費	900,000	700,000	200,000	会報1回分等
通信費	300,000	250,000	50,000	総会案内、会報発送費
会議費	250,000	250,000	0	各種会議等
慶弔費	300,000	250,000	50,000	各種電報、卒業生お祝い等
旅費交通費	400,000	200,000	200,000	各種会議交通費等
広報費	0	500,000	△500,000	
雑費	20,000	20,000	0	振替払出、銀行送金手数料等
次年度へ繰越	25,084,465	19,606,635	5,477,830	
合計	28,804,465	22,926,635	5,877,830	

【平成15年度事業報告】

- 一、会長と打ち合わせ会議
日 時：平成15年5月7日(水) 午前9時30分から
場 所：森会長宅
- 一、第4回名簿編集委員会開催
日 時：平成15年5月29日(木) 午後3時30分から
場 所：種智院大学 第1会議室(この日をもって委員会は解散した)
- 一、第1回会長・副会長会議開催
日 時：平成15年6月19日(木) 午後1時から
場 所：種智院大学 第1会議室
- 一、会計監査会
日 時：平成15年7月3日(木) 午後4時から
場 所：種智院大学 第3会議室
- 一、会長と打ち合わせ会議
日 時：平成15年7月4日(金) 午前10時30分から
場 所：森会長宅
- 一、幹事会開催
日 時：平成15年7月9日(水) 午前11時から
場 所：種智院大学 第1会議室
- 一、総会開催
日 時：平成15年7月9日(木) 午後1時から
場 所：種智院大学 4階 401講義室
- 一、記念講演開催
日 時：平成15年7月9日(水) 午後3時から
場 所：種智院大学 2階 204講義室
演 題：「混迷の現世に生きる」
講 師：真言律宗宗務長・浄瑠璃寺住職 佐伯 快勝僧正
- 一、懇親会開催
日 時：平成15年7月9日(水) 午後5時30分から
場 所：京都センチュリーホテル 千寿の間
- 一、第2回会長・副会長会議開催
日 時：平成15年7月23日(水) 午後1時から
場 所：種智院大学 4階 第1会議室
- 一、会長等と打ち合わせ会議
日 時：平成15年10月2日(木) 午後2時から
場 所：種智院大学 応接室
- 一、会報の発行
第29号：平成15年11月1日発行
- 一、第3回会長・副会長会議開催
日 時：平成15年11月6日(水) 午後1時から
場 所：種智院大学 4階 第1会議室
- 一、事務局会議開催
日 時：平成15年12月15日(月) 午後5時から
場 所：種智院大学 3階 第3会議室
- 一、卒業生への記念品贈呈
日 時：平成16年3月15日(月)
記念品：同窓会会員名簿・腕輪念珠
- 一、各支部活動報告(大阪支部)
日 時：平成15年4月25日(金) 午後6時30分から
場 所：「すたんと割烹 日本」
本部から児玉事務局長、佐伯・都筑・宇垣事務局が参加。

【平成16年度事業計画】

- 一、第1回会長・副会長会議開催
日 時：平成16年5月19日(水) 午後1時から
場 所：種智院大学 第2会議室
議 事：①H15年度寄付状況報告。②H16年度奨学生選考。
③H16年度奨学生のための勧募。
④H15年度同窓会長賞の報告。
H16年度同窓会総会等の日程案について。
- 一、平成16年度同窓会大阪支部 総会並びに懇親会
日 時：平成16年5月24日(月) 午後6時30分から
場 所：大阪市中央区「すたんと割烹日本」
- 一、幹事会開催
日 時：平成16年7月3日(土) 午前11時から
場 所：種智院大学 4階第1会議室
- 一、開会・物故者慰霊法要
日 時：平成16年7月3日(土) 午後1時から
場 所：種智院大学 4階401講義室
- 一、総会開催
日 時：平成16年7月3日(土) 午後1時10分から
場 所：種智院大学 4階401講義室
- 一、記念講演開催
日 時：平成16年7月3日(土) 午後3時から
場 所：種智院大学 3階306講義室
演 題：「古文書から歴史を覗く」
講 師：種智院大学助教授 左右田 昌幸先生
- 一、懇親会開催
日 時：平成16年7月3日(土) 午後5時から
場 所：ホテル京阪京都 2F 「桜の間」
- 一、会報の発行
第30号：平成16年11月末日(予定)
- 一、卒業生への記念品贈呈
日 時：平成17年3月15日(火)
記念品：同窓会会員名簿・腕輪念珠

平成16年度種智院大学同窓会総会出席者

水谷 修夫(昭和17)	嶋 裕海(昭和45)	工藤 誠一(平成11)
森 見章(昭和23)	都筑 大卓(昭和47)	田中 富三(平成12)
手塚 利貞(昭和23)	大林 教善(昭和47)	新名 剛(平成14)
加藤 義昇(昭和23)	鷲尾 隆隆(昭和53)	新名真由子(平成15)
蓬沼 雅春(昭和23)	宮崎 快克(昭和56)	粕谷 浄春(平成15)
法本 弘文(昭和23)	宇垣 泰明(昭和57)	西村 和衛(平成16)
佐伯 龍幸(昭和24)	大原 豊淳(昭和58)	頼富 本宏(学長)
山田 達圓(昭和24)	木村江理子(昭和59)	西崎 照明(賛助)
石坪 昭良(昭和24)	佐野 剛空(昭和60)	児玉 義隆(賛助)
北村 謙臣(昭和30)	吉田 大治(昭和60)	今井 淨圓(賛助)
高松 龍輝(昭和32)	沖津 祐照(平成02)	佐伯 俊源(賛助)
井上 亮淳(昭和33)	湯通堂法姫(平成08)	左右田昌幸(教員)
北村 太道(昭和36)	秋山 英之(平成10)	向井 啓二(教員)

平成15年度 種智院大学同窓会会長賞

平成15年度より、学業成績だけではなく、在学中に人物的評価ができる、あるいは大学や社会的に功勞のあった卒業生の顕彰を目的として、「種智院大学同窓会会長賞」が設けられた。そして種智院大学から候補者の推薦があり、同窓会会長・副会長会議で審査の結果、仏教学科の渡邊真親さんと、仏教福祉学科の重松弘樹くんの2名の受賞が決定された。

渡邊くんは、障害を持ちながらも常に講義を最前席で受講し、また出席も皆勤に近く、なおかつ明朗な性格から他の学生の模範となった。重松くんは、車椅子で通学しながらも優秀な成績を修め、また地元のクラブの車椅子サッカーチームで活躍したことなどが評価されたものである。2人に対しては、平成16年3月15日の卒業証書・学位記授与式の中で、森見章会長より賞状と記念品が贈呈され、会場から暖かい拍手で祝福された。

同窓会会長賞のお礼

仏教学科卒業生 渡邊真親

平成16年3月15日の卒業証書・学位記授与式において、同窓会会長賞を頂いたことに感謝いたします。

先生方や教職員の方々へたいへんお世話になりました。大学ではたくさんの思い出を作ることができ、先生方はいつも笑顔で私に接して下さいました。友人も増えました。

もうあと1年、健康面に留意しながら、研究生として大学に残り、宗教の中の仏教の研究を続けてゆき、よりいっそう成長できればと思っています。

どうも有り難うございました。

平成16年度種智院大学同窓会奨学生決定

平成16年度種智院大学同窓会奨学生には、平成16年5月20日下記の4名が選考されました。

仏教学科	3年次	太田勝彦
仏教福祉学科	1年次	板野真樹
仏教福祉学科	2年次	内藤翔代
仏教福祉学科	3年次	成田 俊

種智院大学 奨学金の寄付を受付中!

加入者名：種智院大学 同窓会

口座番号：00920-1-20456

一口5,000円(二口以上を希望いたします)

平成16年度 奨学金寄付者一覧

同窓会奨学生のための勸募状況報告

卒業年度	支部	氏名	卒業年度	支部	氏名	卒業年度	支部	氏名
昭和15	京都府	天野 雪城	昭和25	京都府	石坪 昭真	昭和57	岡山県	石戸 秀定
昭和15	岡山県	石原 高喜	昭和25	広島県	豊田 修賢	昭和57	愛知県	澤 親徳
昭和16	兵庫県	乾 秀賢	昭和28	兵庫県	足立 有教	昭和57	京都府	田村 俊善
昭和16	東京都	高橋 隆進	昭和28	兵庫県	加門 得勇	昭和58	岡山県	日下部快純
昭和16	長野県	龍 昇吾	昭和28	岡山県	児玉 玄裕	昭和58	愛媛県	田中 鐘暁
昭和18	京都府	(故)森田 龍雄	昭和28	北海道	宮本 成雄	昭和60	大阪府	佐野 剛空
昭和19	香川県	高吉 清順	昭和30	新潟県	北村 議臣	昭和60	京都市	吉田 大治
昭和19	京都府	片山 宥雄	昭和30	山口県	福島 尊光	昭和62	広島県	山下 高仙
昭和20	茨城県	番場 實亮	昭和31	兵庫県	本郷 晋海	平成4	岡山県	池上 由範
昭和20	兵庫県	福岡 徹明	昭和31	兵庫県	向田 雅昭	平成8	青森県	海浦 誠
昭和22	岡山県	奥寺 知光	昭和32	岡山県	吉田 親玄	平成8	奈良県	小城 秀全
昭和22	京都府	川村 俊朝	昭和33	京都市	筑波 常遍	平成8	岡山県	新見 彰堂
昭和22	広島県	松崎 隆雄	昭和35	福岡県	岩熊 覚真	平成9	大阪府	玉木 良恵
昭和23	香川県	和泉 恵弘	昭和35	兵庫県	藤井 昭禪	平成10	福井県	赤松 布絵
昭和23	青森県	海浦 暁観	昭和35	大阪府	藤崎 信幸	平成12	兵庫県	藤木 隆行
昭和23	京都府	河邊 延應	昭和35	奈良県	密門 光範	平成12	徳島県	宮内 靖仁
昭和23	京都府	木村 弘	昭和36	大阪府	北村 太道	平成13	岡山県	高橋 佑昌
昭和23	兵庫県	手塚 利貞	昭和37	大阪府	土屋 博秀	平成13	大阪府	向井 要介
昭和23	神奈川県	内藤 信道	昭和39	岡山県	守安 英一	平成14	神奈川県	内藤 信介
昭和23	大阪府	蓮沼 雅春	昭和40	京都府	天野 明雄	平成14	広島県	光森 大真
昭和23	京都府	本田 隆保	昭和45	京都市	新田 弘美	平成15	福岡県	渡邊 天照
昭和23	岡山県	宮宗 孝永	昭和45	奈良県	松尾 初子	平成16	大阪府	喜多川俊和
昭和23	兵庫県	森 見章	昭和45	北海道	三木 教圓	準	滋賀県	(故)安田 頼盛
昭和24	兵庫県	今井 圓明	昭和45	兵庫県	森 孝明	準	岡山県	高木 増堅
昭和24	愛媛県	神野 龍幸	昭和46	和歌山県	後藤 啓之	準	石川県	新田 忠孝
昭和24	徳島県	棚上 慈勝	昭和47	香川県	大林 教善	賛助	兵庫県	今井 淨圓
昭和24	福岡県	新野 正憲	昭和47	広島県	蠣田 慧光	賛助	三重県	佐々木龍宝
昭和24	兵庫県	丹生 裕幸	昭和47	滋賀県	弧溪 正信	賛助	京都府	西崎 照明
昭和24	京都府	山田 達圓	昭和47	香川県	菅 智潤	賛助	兵庫県	頼富 本宏
昭和25	岡山県	荒谷 恵乗	昭和48	新潟県	松山 隆典			
昭和25	岡山県	生駒 研性	昭和51	香川県	小倉 秀円			
						件数	口数	勸募総額
						91件	257	1,285,000

平成16年11月30日現在(敬称略)

ご協力ありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

新入生交流会

仏教福祉学科

去る5月15日(土)。仏教福祉学科の新入生を、学科の卒業生・在學生と基礎課程と仏教福祉学科の教員が歓迎するイベントを初めて実施しました。

午前中は相互の自己紹介のあと、卒業生諸氏の現在の職業や学生時代のエピソードを交えた体験談を聞き、これから始まる大学生活への夢を膨らませたり、現実の厳しさを神妙な表情で聞いていました。午前中のまとめ発表や交流会終了後の感想の中で、職業につくことの意義や目標をイメージすることができ、大変参考になったことでしょ。もっと卒業生の話を聞いてみたい、という感想も多々寄せられ、卒業生から後輩たちへの温かいエールを胸に刻み、学びの多いひとときをもつことができました。

昼食も参加者が相互に親睦を深められるよう、立食スタイルをとり「同じ釜の飯」を楽しくほうばりました。そここで新入生が卒業生に午前中の話のつづきを熱心に聞いたり、久しぶりに顔を合わせた卒業生同士・演習担当の教員が語り合うこまも見うけられ、こ

こでも思い思いの交流をはかることができていたようです。

午後はレクリエーションタイム。卒業生・新入生・在學生の混合グループに分かれ、優勝商品「特大グリコの詰め合わせ」をかけて、体を動かす室内ゲームや教員の「わたしのひ・み・つくイズ」などに一致団結して挑みました。午前中の和やかな雰囲気とは一転(?)白熱の午後となりました。

昨今「大学に入学したものの、なかなか将来の進路のイメージが持てない」「専門科目を学ぶ意義を見出せず学習意欲が低下し、大学へ来てはやはりあいが無い」という不安やしんどさを抱えた学生が増えていることは、どの大学でも課題となっています。今回の交流会は、そのような学生への支援の一環として企画されたものですが、実施後の感想によれば、新入生だけでなく、参加した在學生からも「卒業生貴重な体験談を聞く機会



をもらえてうれしかった」「将来の職業についていいアドバイスを受けられて良かった」という意見が寄せられました。

今年度初めての試みとして実施した新入生交流会でしたが、卒業生とのふれあいの中で得られる、大学の講義とは一味違ったアドバイスの説得力に改めて感服すると同時に、卒業生と在學生との交流の大切さを実感する実り多い一日となりました。

ご協力いただいた卒業生の皆様。本当にありがとうございました。来年度もまた多数のご参加をこの場を借りてお願い申し上げます。よろしく願いたします。

学園得度式



平成16年度の学園得度式は、9月25日(土)午前9時30分、種智院大学(種智院道場)において頼富本宏学長戒師のもと執行され、5名の受者が得度した。式終了後、戒師頼富学長から「今年は5名の新発意が弘法大師の弟子として得度された。これから仏道に精進してほしい」と訓戒を述べられた。受者を代表して杉山本學君が「一生

懸命積尊や弘法大師のの教えを学び、立派な仏教者となれるよう努力します」とお礼の言葉を述べて、得度式は無慮成満した。

杉山本學(東寺真言宗・頼富学長)
福田寛紹(東寺派・福田寛隨)
金田光世(御室派・岡田幸恵)
藤本明大(大覚寺派・藤本妙全)
福田寛龍(東寺派・福田寛隨)

* () 内は宗派・師僧名

ホームページリニューアルのお知らせ

種智院大学ではホームページをリニューアルしました。同窓会関連記事もありますのでぜひ、皆様もご覧ください。
※同窓会報はホームページでもご覧いただけます。



www.shuchiin.ac.jp



大学で結婚式



平成16年12月2日(木)午後5時30分、種智院大学講義室401(種智院道場)の弘法大師御宝前において、新名剛(平成14)・真由子(旧姓大山 平成15)ご夫妻の結婚式が、野口圭也教授の戒師により教職員有志の出仕・参列のもと執行された。種智院大学での結婚式は、向島キャンパス移転後初めてのことである。記念品授与、受戒、三三九度の誓水ののち、戒師野口教授より「敬愛深く、和合に順じ、貞節にして、信仰に務め、与えられた天職に尽くすべし」と訓戒があり、新郎新婦が「お教えを守り、立派な仏教者となるよう努力します」と誓詞を述べて無魔成満した。

式後、改めて野口教授より「本日は、よき日に結婚式を執り行うことができおめでとう。今後とも二人で力を合わせて頑張ってください。また、教職員の方々には、ご出仕・ご参列いただき御礼申し上げます。これからも新名夫妻を見守っていただきたい」と挨拶があり、参列者から盛大な拍手が贈られた。

なお、記念品については、井筒法衣店勤務の坂根秀明さん(昭和56)のご好意により特製念珠を仕立てていただいた。

職業・出仕者(カッコ内は配役・卒業年)

野口圭也(戒師 賛助)、児玉義隆(教導 賛助)、今井浄圓(証明 賛助)、田村俊善(唄 昭和57)、松本峰哲(記録 賛助)、宇垣泰明(記録 昭和57)



●種智院大学公開講座(聴講料無料・事前申込不要)●

日時:1月22日(土)15:40~17:10

講座名:「鉄腕アトムの子とクローン児の誕生」

会場:キャンパスプラザ京都 第3講義室

伝法灌頂開壇のお知らせ

種智院大学では、右記のとおり大学主催の学園伝法灌頂を開壇いたします。

申込期日等の詳細につきましては、係までご連絡ください。

日程	平成17年2月25日(金)~27日(日)
道場	総本山西大寺 愛染堂道場
流派	三宝院流憲深方
大阿闍梨	学長 頼富本宏 僧正
支具料	20万円
人数	若干名(多数の場合お断りすることがあります)
担当	種智院大学宗教部

会員消息

慶事おめでとうございます

小久保啓一様	(昭和56)	平成15年4月6日	ご結婚	
林 真光様 (旧姓名 寺井 光)	(平成6)	平成15年6月7日	ご結婚	
池田 光輝様	(平成10)			
東田 和仁様	(昭和51)	平成15年7月2日	ご晋山	真言宗中山寺派管長・大本山中山寺長老
めぐみ様 (旧姓 南部)	(平成12)	平成15年7月23日	ご結婚	
川原 一修様	(平成9)	平成15年11月9日	ご結婚	
山口 光玄様	(昭和62)	平成16年4月4日	ご結婚	
田代 弘高様	(平成14)	平成16年5月9日	ご結婚	
齋藤 純晴様	(平成15)	平成16年10月25日	ご結婚	
沼尻 憲尚様	(平成16)	平成16年11月6日	ご結婚	
竹川 明秀様	(昭和55)	平成16年11月9日	ご自坊落慶	
新名 剛様	(平成14)	平成16年12月2日	ご結婚	
真由子様 (旧姓 大山)	(平成15)			

訃報謹んでお悔やみ申し上げます

楠戸 龍真様 (昭和45)	平成15年1月30日	ご遷化	徳島県 舞寺住職
中村 善道様 (昭和16)	平成15年2月4日	ご遷化	大阪府 竜泉寺住職
宮本 真光様 (昭和14)	平成15年3月7日	ご遷化	佐賀県 正福寺名譽住職
井上 紀生様 (昭和16)	平成15年3月23日	ご遷化	大本山大覚寺元門跡・神戸市 立江寺住職
宮崎 忍勝様 (準)	平成15年6月13日	ご遷化	徳島県 般若寺名譽住職
藤澤 有彰様 (準)	平成15年9月15日	ご逝去	
長谷川 隆憲様 (昭和36)	平成15年10月21日	ご遷化	北海道 真隆寺住職
古川 政智様 (平成6)	平成15年12月9日	ご遷化	新潟県 慶学院副住職
池田 瑩輝様 (昭和28)	平成16年1月14日	ご遷化	大本山中山寺元長老・兵庫県 成就院名譽住職
森田 龍雄様 (昭和18)	平成16年2月4日	ご遷化	京都府 安養院名譽住職
城光寺 教進様 (昭和10)	平成16年4月12日	ご遷化	鳥取県 青龍寺住職
西山 廣文様 (昭和48)	平成16年6月18日	ご遷化	香川県 歡喜院法蓮寺副住職
安田 頼盛様 (準)	平成16年9月20日	ご遷化	滋賀県 悉地院住職
鷲尾 隆輝様 (賛助)	平成16年10月15日	ご遷化	大本山石山寺座主
荻野 泰舜様 (昭和19)	平成16年11月20日	ご遷化	大阪府 法薬寺住職

種智院大学同窓会前会長
中山寺派元管長
中山寺元長老

池田瑩輝大僧正遷化



宝塚市中山寺2丁目11-1の種智院大学同窓会前会長・大本山中山寺元長老・真言宗中山寺派元管長・中山寺成就院名譽住職池田瑩輝大僧正は平成16年1月14日世寿82歳、法臘68歳を以て遷化された。通夜は1月15日、密葬は16日午前11時より成就院に於いて営まれた。本葬儀は2月17日午後1時より同山信徒会館で営まれた。故大和尚は大正12年7月24日生、昭和19年東亜外事専門学校(現・麗澤大学)卒、28年種智院大学仏教学部密教学科卒、26年成就院住職、30年より中山寺執行・派法務、庶務各部長を歴任し、62年同山長老・派管長就任。平成3年後七日御修法大阿・真言宗長者。平成8年種智院大学同窓会会長に就任後同年、密教教化賞受賞。また全日仏評議員、世界連邦日本宗教委員会委員長、真言宗京都学園理事・評議員。同学園同窓会会長、宝塚市仏教会会長等を務め、長年に亘る世界連邦平和運動を通じ、日本密教と他宗派の交流を深め、密教的世界観とコスモポリタニズムを世界平和の領域まで拡大。ハワイ真珠湾での慰霊祭を毎年執行、また各宗教サミットにも参加。さらに自ら主催する宝生会を通じて海外での密教布教活動も著しく、多方面に亘り活躍、宗団発展、寺門興隆に尽力し、その遷化が惜しまれている。喪主は池田光輝長老(昭和51年卒)。

種智院大学元学長・真言宗京都学園理事長
東寺真言宗管長
総本山教王護国寺長者
大本山石山寺座主

鷲尾隆輝大僧正遷化



東寺真言宗管長・総本山教王護国寺長者・大本山石山寺座主鷲尾隆輝大僧正は去る10月15日午前2時25分、急性心不全のため世寿88歳を以て遷化された。通夜は10月16日午後7時、葬儀は17日午後1時より滋賀県大津市石山寺の大本山石山寺で大本山勸修寺門跡筑波常遍大僧正導師のもと営まれ、会葬者多数で盛葬であった。故大和尚は大正6年12月17日生、昭和42年石山寺座主、49年から東寺真言宗管長・東寺長者。西国三十三所札所会会長、真言宗京都学園理事長、滋賀県仏教会長等歴任。同窓会に対しては賛助会員として種々協力いただいた。喪主は長男で副座主の鷲尾遍隆師(昭和53年卒)。なお東寺本山葬は11月8日京都市南区九条町一の総本山教王護国寺に於いて営まれた。

入 試 案 内

■ 平成17年度 入学試験日程

入試種別	試験日	出願期間	受験科目
一般入試1(作文型)	1/23(日)	1/4(火)~1/18(火)	文章表現
宗門関係者入試4			文章表現・面接
編入学試験4			小論文※・面接
社会人入試4			小論文※・面接
一般入試2(教科型)	2/20(日)	2/3(木)~2/17(木)	国・日・英→2科目
宗門関係者入試5			文章表現・面接
編入学試験5			小論文※・面接
社会人入試5			小論文※・面接
一般入試3A(教科型)	3/16(水)	2/21(月)~3/14(月)	国・日・英→2科目
一般入試3B(作文型)			文章表現
宗門関係者入試6			文章表現・面接
編入学試験6			小論文※・面接
社会人入試6			小論文※・面接
センター試験利用入試A	個別試験なし	1/11(火)~2/8(火)	国→1科目。外・地歴・公・数→1科目選択。
センター試験利用入試B		2/21(月)~3/14(月)	計2科目

※作文及び小論文は出願時提出

Point1 受験生の得意を最大限に評価します!

種智院大学の入試は大きく分けると3タイプ。自分に合ったパターンで受験することができます。

パターン① 文章表現+面接 ▶ 宗門関係者入試、編入学試験、社会人入試がこのパターンです。編入学試験と社会人入試の作文は出願時に提出するので、試験当日は面接のみ。

パターン② 文章表現のみ ▶ 一般入試1・3Bがこのパターンです。試験当日60分で600~800字で作文します。テーマは自由です。自分の思いをきちんと表現してください。

パターン③ 教科型試験 ▶ 一般入試2・3Aがこのパターンです。3科目(国・日・英)から2科目を受験してもらいます。2科目のうち、得点の高かった科目を2倍し、計300点で判定しますので、不安な科目があっても、得意な科目でカバーすれば大丈夫です。また、このパターンの受験生は奨学金給付生に選ばれるチャンスがあります。

Point2 充実した奨学金制度を最大限に利用しよう!

大学4年間の生活には莫大な費用がかかります。そこで種智院大学では、入試の段階から経済面をバックアップし、入学後も様々な奨学金制度を利用できます。もちろん日本学生支援機構(旧日本育英会)の奨学金も取り扱っています。

奨学金給付生選抜制度 (平成16年度 第2種 2名)

教科型試験で優秀な成績で合格した受験生に対し入学後に下記の奨学金を給付。

- 第1種奨学金:初年度授業料全額相当を給付(約72万円)
- 第2種奨学金:初年度授業料半額相当を給付(約36万円)
- 第3種奨学金:初年度入学金相当を給付(約20万円)

種智院大学同窓会奨学金制度 (平成16年度 4人採用)

学業・人物ともに良好にも関わらず、経済的理由によって修学が困難である学生に対し、次年度授業料の一部を給付。

種智院大学特待生制度 (平成16年度 計14人採用)

- ①人物及び学業成績が優秀である学生に対し、次年度授業料の一部を給付。
- ②人物及び学業成績が優秀にも関わらず、経済的に著しく修学が困難な学生に対して、次年度授業料の一部を給付。

大学案内・入学願書について

ハガキまたはお電話(FAX可)、ホームページで入試課までご請求ください。

※なお、直接お越しの場合は月曜日から土曜日 AM9:00~PM5:00(土曜日はPM1:00まで)

種智院大学入試課 TEL 075-604-5600 FAX 075-604-5610

<http://www.shuchiin.ac.jp>

※ おことわり

・最近、種智院大学の同窓生と称して、同窓会会員の方々の職場や個人所有の携帯に直接電話をかけるという被害が多発しております。不審な電話を受けられた場合は同窓会事務局まで、ご一報いただきますよう、お願いいたします。